

## 第19課 <sup>にほん</sup>日本りょうりを <sup>た</sup>食べた ことがあります

1. Glagolska oblika V-た
2. Kako povemo, da smo nekaj že kdaj doživeli?
3. Kako omenimo par primerov tega, kar se dogaja?
4. Kako povemo, da se je nekaj spremenilo?
5. Kako koga spodbudimo, naj nekaj naredi, ali mu kaj voščimo?

<sup>にほん</sup> <sup>せいかつ</sup>日本の生活 **Življenje na Japonskem**

<sup>いっかい</sup>一回だけ、<sup>りゅうがくせい</sup>留学生センターの <sup>りょこう</sup>旅行で  
行った ことがあります。



新しい言葉 **Nove besede****Glagoli**

出かけます	で「かけま」す	で「かける	で「かけて	V1	iti ven (iz hiše, po opravkih ipd.)
泊ります	と「まりま」す	と「まる	と「まって	V5	prenočiti, prespati
					ホテルに 泊る prenočiti v hotelu
	な「りま」す	な「る	な「って	V5	postati
楽しめます	た「のしみま」す	た「の」しむ	た「のし」んで	V5	uživati, zabavati se
					楽しんで ください。 Uživajte!
登ります	の「ぼり」ます	の「ぼる	の「ぼって	V5	splezati, iti na goro
					富士山(ふじさん)に 登る iti na goro Fudži

**Samostalniki**

週末	しゅう「まつ	konec tedna, vikend
温泉	お「んせん	toplice
寺	て「ら」	budistični tempelj
お湯	お「ゆ	topla voda, krop
すき焼き	す「きやき	sukijaki (blanširano meso in zelenjava)
	て「んぷら	tempura (cvrtje)
刺身	さ「しみ	sašimi (narezana riba)
寿司	す「し」	suši
	う「どん	udon (japonski pšenični rezanci)
	そ「ば	soba (japonski ajdovi rezanci)
	ラ「ーメン	ramen (kitajski jajčni rezanci)
歌舞伎	か「ぶき	kabuki (tradicionalno japonsko gledališče)
外国	が「いこく	tuja država, tujina
ホテル	ホ「テル	hotel
布団	ふ「とん	futon (japonska posteljnina)
山歩き	や「まあ」るき	hribolazenje, planinarjenje
羊	ひ「つじ	ovca
生活	せ「いかつ	življenje
温泉	お「んせん	toplice
有馬温泉	あ「りまお」んせん	toplice Arima
六甲	ろ「っこう	Rokkou (hribovje pri Kobeju)

**Prislovi**

初めて	は「じ」めて	prvič
是非	ぜ「ひ	vsekakor
なかなか	な「かなか	(+nikalni povedek) nikakor, ne tako, kot bi pričakovali
だんだん	だ「んだん	postopoma
もうすぐ	も「うす」ぐ	zelo kmalu
今度	こ「んど	tokrat; prihodnjič

**Fraze**

気持ちが いい き「もちが い」い	prijetno biti
気持ちが わるい き「もちが わる」い	neprijetno biti, slabo biti (komu)
調子が いい ちょ「うしが い」い	dobro se počutiti (človek); dobro delovati (stroj)
調子が わるい ちょ「うしが わる」い	slabo se počutiti (človek); slabo delovati (stroj)
一度も   い「ちども	niti enkrat

ことば れんしゅう

## 言葉の練習 Vaja za utrjevanje besedišča

Ponovimo glagolske oblike na て in slovarske oblike!

V5

V ます	V て	V る	pomen
かきます	かいて	かく	pisati
いそぎます			
*いきます			
よみます			
あそびます			
かいます			
とります			
まちます			
かします			
のみます			
けします			
とまります			
たのしみます			
なります			

V1

V ます	V て	V る	pomen
たべます	たべて	たべる	jesti
みます			
かります			
います			
ねます			
あびます			
おきます			
でかけます			

Vs

V ます	V て	V る	pomen
します			
べんきょうします			
さんぽします			
うんてんします			
*きます			

あたらしいぶんけい  
新しい文型 Novi stavčni vzorci

## 1. Glagolska oblika V - た

Glagolska oblika na -た je neformalna pretekla oblika glagola, ki v neformalnem govoru ustreza obliki formalnega govora -ました, uporablja pa se tudi v nekaterih vzorcih v formalnem govoru. Končnica se zliva s korenem podobno kot pri obliki V て: končnici -て ustreza tu končnica -た, končnici -で pa končnica -だ.

V5	V て／で	V た／だ
かきます	かいて	かいた
*いきます	いって	いった
おきます	おいて	おいた
いそぎます	いそいで	いそいだ
よみます	よんで	よんだ
よびます	よんで	よんだ
とります	とって	とった
まちます	まって	まった
かいます	かって	かった
かします	かして	かした

V1	V て	V た
たべます	たべて	たべた
みます	みて	みた
おきます	おきて	おきた

Vs	して	した
さんぽします	さんぽして	さんぽした
そうじします	そうじして	そうじした

きます	きて	きた
-----	----	----

## 練習 I 書いて ください。

	ます形 <sup>けい</sup>	た形 <sup>けい</sup>		ます形 <sup>けい</sup>	た形 <sup>けい</sup>
V5	ならいます		V1	つかれます	
	あらいます			かります	
	およぎます			わすれます	
	あるきます			のりかえます	
	聞きます			教えます	
	よびます				
	読みます		***	きます	
	てつだいます				
	さがします		Vs	します	
	分かります			しょくじします	

## 2. Izkušnja v preteklosti – Kako povemo, da smo nekaj že kdaj doživeli?

V た ことが あります。

a) 私は 日本へ 行った ことが ありません。

*Še nikoli nisem bil na Japonskem.*

b) A: すしを たべた ことが ありますか。

*Ali ste že kdaj jedli suši?*

B: はい、あります。

*Ja, sem.*

c) 私は すしを いちども たべた ことが ありません。

*Niti enkrat še nisem jedel sušija.*

S tem vzorcem govorimo o tem, kar smo že kdaj doživeli ali izkusili, o izkušnjah v preteklosti. Glagol v obliki na -た s formalnim samostalnikom こと, ki smo ga spoznali v prejšnji lekciji, tvori samostalniško frazo, ki stoji namesto samostalnika v osnovnem vzorcu N があります. Pri zanikanju lahko to, da nekdo nečesa ni še niti enkrat izkusil, poudarimo s prislovom いちども.

練習 2-1 例のように 文を <sup>つく</sup>作って ください。

例) 【すし／たべます】 → 私は すしを たべた ことが あります。

1) 【さくら／見ます】 →

2) 【日本／りょうこうします】 →

3) 【しんかんせん／のります】 →

4) 【トリグラウ／のぼります】 →

5) 【ふとん／ねます】 →

6) 【日本りょうり／つくります】 →

7) 【まんが／かきます】 →

8) 【?／?】 →



練習 2－2 例の ように 答えて ください。

例) 【かぶきを 見ます】

A : かぶきを 見た ことが ありますか。

B : { はい、見た ことが あります。  
いいえ、見た ことが ありません。

1) 【フランスへ 行きます】

A :

B :

2) 【日本酒を のみます】

A :

B :

3) 【日本語で レポートを 書きます】

A :

B :

4) 【ラテン語 [latinščina]を 勉強します】

A :

B :

5) 【タバコを すいます】

A :

B :

3. Naštevande tipičnih dejanj ali stanj – Kako omenimo par primerov tega, kar se dogaja?

V たり、 V たり します。

a) 休みの 日は 本を 読んだり、さんぽしたり、ともだちに 電話を かけたり します。

*Ob praznikih počenjam take stvari, kot da na primer berem knjige, se sprehajam, telefoniram prijateljem in podobno.*

b) 土よう日は テレビを 見たり、しんぶんを 読んだり しました。

*V soboto sem gledal televizijo, bral časopise in počenjal podobne stvari.*

c) でんきを つけたり けしたり しないで ください。 *Ne prižigajte in ugašajte (kar naprej) luči!*

Oblika na -たり se pri glagolih tvori tako, da pretekli neformalni obliki V た dodamo zlog ーり。To obliko uporabimo takrat, ko naštevamo nekaj primerov dejanj ali stanj oziroma nekaj tipičnih dejanj ali stanj, ne glede na njihovo zaporedje v času. Zaporedju običajno vsaj dveh ali tudi več stavkov s povedkom v obliki V たり sledi glagol します, ki je lahko povedek glavnega stavka ali se veže dalje na druge stavke.

Ai かったり

Ana だったり

N だったり

d) 今年の なつは あつかったり さむかったり しました。

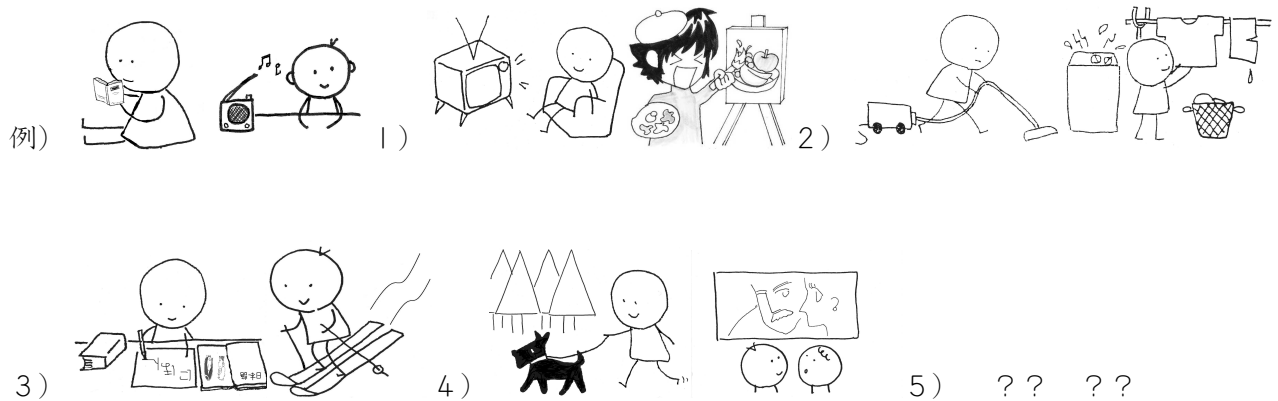
*Letos poleti je včasih zeblo, včasih je bilo vroče.*

e) しゅうまつは いそがしかったり、ひまだったり します。

*Konec tedna imam včasih veliko dela, včasih malo.*

Oblika na -たり se lahko tvori tudi s pridevniki in samostalniki: pri pridevniki na -i tako, da pretekli obliki na -かった dodamo zlog り, pri pridevniki na -na in samostalnikih pa s kopulo v obliki -だったり。

練習3 例の ように 答えて ください。



例) A : まいばん 何を しますか。

B : 本を よんだり、おんがくを きいたり します。

1) A : うちへ かえって、いつも 何を しますか。

B :

2) A : こんしゅうの 土よう日に 何を しますか。

B :

3) A : ふゆ休みに 何を しますか。

B :

4) A : しゅうまつに、何を しますか。

B :

5) A : デートの とき、何を しますか。

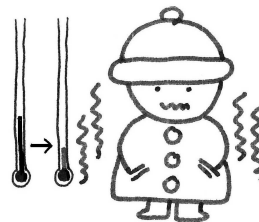
B :

#### 4. Spremembe v stanju – Kako povemo, da se je nekaj spremenilo?

Ai い → Ai く なります。

Ana な → Ana に なります。

N → N に なります。



- a) さむく になりました。
- b) かみが ながく になりましたね。
- c) ともだちは 元気に になりました。
- d) きのう 19さいに になりました。
- e) へやは きれいに になりました。
- f) ごぜん中は いい 天気でしたが、ごごは 雨に になりました。

*Pohladilo se je.*

*Lasje so vam zrasli, kajne! (dobesedno: postali dolgi)*

*Prijatelj je ozdravel / je postal bolj živahen.*

*Včeraj sem dopolnil 19 let.*

*Soba je postala čista / je pospravljena.*

*Dopoldne je bilo lepo vreme, a popoldne je začelo deževati.*

- g) 今年の 10 月に 私は 大学生に になりました。 *Letošnjega oktobra sem postal študent.*

Z glagolom なります (»postati«) ob pridevniških ali samostalniških povedkih poudarimo to, da je do nekega stanja prišlo po spremembi iz drugega stanja. V slovenščini bi v istih situacijah velikokrat uporabili druge izraze, zato dobesedni prevodi zvenijo okorno.

練習 4-1 例のように 文を <sup>つく</sup> 作って ください。

例) 【だんだん・さむいです】 → だんだん さむく なります。

1) 【だんだん・料理が <sup>りょうり</sup> 上手です <sup>じょうず</sup>】 →

2) 【もうすぐ・はるです】 →

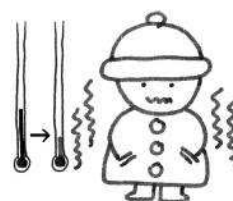
3) 【らいしゅう・はたちです】 →

4) 【だんだん・日本りょうりが 好きです】 →

5) 【もうすぐ・くらいです】 →

6) 【らいねん・こうこうせい】 →

7) 【だんだん・日本語が <sup>じょうず</sup> 上手です】 →





練習 4-2 例の ように 会話を 作って ください。

A. 例 1) 【ダンスが 上手です／ともだちに ならいます】

A : ダンスが 上手に なりましたね。

B : ええ、ともだちに ならいました。

1) 【へやが きれいです／きのう そうじしました】

A :

B :

2) 【日本語が 上手です／いっしょうけんめい 勉強しました】

A :

B :

3) 【かみが みじかいです／きのう 切りました】

A :

B :

4) 【かばんが あたらしいです／せんしゅう B T C で 買いました】

A :

B :

B.

例 2) 【あたまが いたいです／すこし 休みます】

A : あたまが いたく なりましたね。

B : すこし 休みましょうか。

5) 【すこし さむいです／まどを しめます】

A :

B :

6) 【ちょっと あついです／？】

A :

B :

7) 【ねむいです／？】

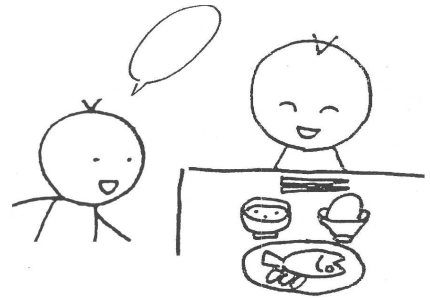
A :

B :



**5. Vzpodbujanje sogovornika** – Kako koga spodbudimo, naj nekaj naredi, ali mu kaj voščimo?

V て ください。



a) どうぞ、食べて ください。

*Izvolite, jejte!*

b) たのしんで ください。

*Uživajte!*

Vzorec てください smo doslej spoznali za izražanje prošenj ali vljudnih ukazov, lahko pa se uporablja tudi za spodbujanje sogovornika, naj nekaj naredi v svojo korist.

**練習5 例のように 話して ください。**

例) 【この ケーキは 母が 作りました／食べます】

A : この ケーキは 母が 作りましたが、どうぞ 食べて ください。

B : ありがとうございます。

1) 【これは 日本の シャシんです／見ます】

A :

B :

2) 【この ワインは 父が 作りました／飲みます】

A :

B :

3) 【明日 家で パーティーを します／きます】

A :

B :

4) 【? / ?】

A :

B :

ほんぶん

## 本文 | 9 Besedilo 19

## ムラカルさんの日本の生活 Življenje na Japonskem

Pri Janu doma Aya in Milan govorita preko računalnika z Markom Mlakarjem, ki študira na Japonskem.

あや : 日本<sup>にほん</sup>の 生活<sup>せいかつ</sup>は どうですか。

マルコ : 毎日<sup>まいにち</sup> とても 楽しい<sup>たの</sup>です。

あや : 京都<sup>きょうと</sup>や 奈良<sup>なら</sup>へは もう 行き<sup>い</sup>ましたか。

マルコ : ええ。何回<sup>なんかい</sup>も。

週末<sup>しゅうまつ</sup>には、よく 友達<sup>ともだち</sup>と 古い<sup>ふる</sup> 寺<sup>てら</sup>へ 行き<sup>い</sup>ます。

あや : 温泉<sup>おんせん</sup>へは？

マルコ : 一回<sup>いっかい</sup>だけ [samo]、留學生<sup>りゅうがくせい</sup>センターの 旅行<sup>りょこう</sup>で

行<sup>い</sup>った こと<sup>こと</sup>が あり<sup>あ</sup>ります。有馬温泉<sup>ありまおんせん</sup>へ 行き<sup>い</sup>ました。

あや : どうでしたか。

マルコ : お湯<sup>ゆ</sup>が とても 熱<sup>あつ</sup>かったですが、気持<sup>き</sup>ち よ<sup>も</sup>かったです。

その後<sup>あと</sup>、六甲<sup>ろっこう</sup>へ 行<sup>い</sup>って 山歩<sup>やまある</sup>きを した<sup>し</sup>り、

ひつじ [ovca] を 見<sup>み</sup>たり しま<sup>し</sup>ました。

あや : そうですね。日本<sup>にほん</sup>での 生活<sup>せいかつ</sup>、楽<sup>たの</sup>しんで くだ<sup>くだ</sup>さいね。



# L 19 日本りょうりを食べたことがあります

はってん

## 発展 Poskusimo!

1. だれが いちばん すごいですか。たくさんの 文を つく てください。

例1) 私は 車の うんてん (samostalnik) が できます。

例2) 私は かんじを 100 かく (slovarska oblika) ことが できます。

例3) 私は マドンナに あった (oblika V-ta) ことが あります。

2. 日本へ 行った ことが ありますか

	わたし	さん	さん
日本へ いく 		例1) ○ とても たのしかった 例2) ×	
ふねに のる 			
だいとうりょう [predsednik] にあう			
日本の おかしな たべる 			
マンガや アニメを  みる			
コンピュータを なおす			
日本りょうりを つくる			
日本語のマンガを 読む			
?			

例1) A : 日本へ 行った ことが ありますか。

B : はい、あります。

A : どうでしたか。

B : とても たのしかったです。

例2) A : 日本へ 行った ことが ありますか。

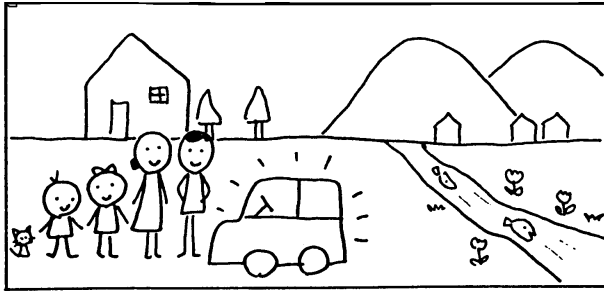
B : いいえ、ありません。

A : そうですか。

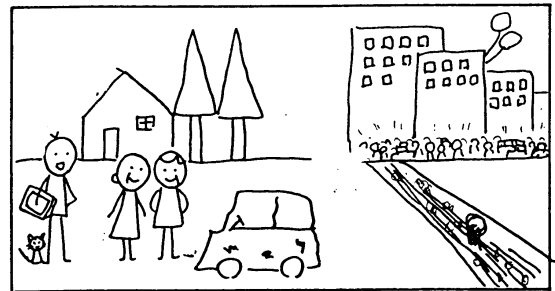
### 3. どうなりましたか。

となりの 人に 聞いて、えを かきましょう。

<sup>ねんまえ</sup>  
10 年前



<sup>いま</sup>  
今



<sup>かいわ</sup>  
会話の 例

A: 10 年前、車は あたらしかったです。今は どうなりましたか。

B: とても <sup>ふる</sup> 古く なりました。

### 4. クイズ - ここは どこですか。

クイズを かんがえましょう!

例) ここで のんだり、たべたり します。どこですか。 (答え: レストラン)

① \_\_\_\_\_ ( )

② \_\_\_\_\_ ( )

③ \_\_\_\_\_ ( )

④ \_\_\_\_\_ ( )

ふくしゅう

## 復習 Ponovimo!

### 1. 適当な <sup>てきとう</sup> 形に <sup>かたち</sup> して ください。

例) えんぴつを (かします → **かして** ) ください。

A: 日本へ (行きます → ) ことがありますか。

B: はい、あります。 きょねんの ふゆ 行きました。

A: 日本で 何を (します → )。

B: かぶきを (見ます → ) り、りょうこうを (します → ) り、  
ともだちに (会います → ) り しました。

A: かぶきは どうでしたか。

B: とても (いいです → )。

A: おすしを 食べましたか。

B: はい。とても おいしかったです。

日本の 食べものが (好きです → ) になりました。

A: しんかんせんに のりましたか。

B: いいえ。ぜひ こんど (のります → ) たいです。

### 2. 文を <sup>ぶん</sup> 完成して <sup>かんせい</sup> ください。

ヤン : マルコさんは すきやきを 食べた ことがありますか。

マルコ : ええ、ありますよ。せんしゅう、田中さんと 食べました。

ヤン : いいですね。私は いちども \_\_\_\_\_。

マルコさんは、はして ごはんを 食べる ことができますか。

マルコ : もちろん \_\_\_\_\_。

ヤン : わあ、すごいですね。

### 3. 答えて <sup>こた</sup> ください。

1) 日本りょうりを 食べた ことがありますか。

2) せんしゅうの 日よう日に 何を しましたか。

3) 日本語が 上手に になりましたか。

4) 日本人と 話した ことがありますか。

5) 冬、トリグラウへ のぼる ことができますか。